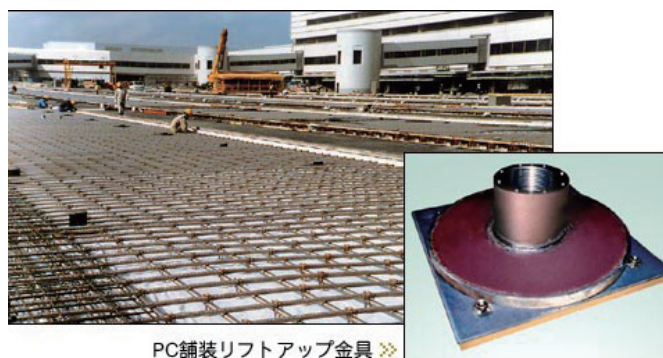


リフトアップ金具



PC舗装リフトアップ金具

リフトアップ工法とは

リフトアップ工法は、コンクリート舗装の沈下部分に所定間隔で専用の油圧ジャッキを取り付け、コンピュータ制御により舗装版を所定の高さに持ち上げ、その後リフトアップしたコンクリート版と路盤との間にグラウトを充填して復元する工法です。

リフトアップ金具（先設置方式・後設置方式）

リフトアップ工法に必要なリフトアップ金具は、施工時に埋設（先設置方式）するか、不同沈下が生じた後に設置（後設置方式）するか選択できます。

前者は事前に建設後の不同沈下が予測される場合に適し、後者は予測されない場合に適しています。後設置方式ではリフトアップに先立って、削孔、反力盤設置、金具取り付け作業が必要となります。

